

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須賀川区魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	須賀川区ふるさと創生委員会 (下高井郡山ノ内町夜間瀬 11700-1 TEL0269-33-6411)
事業区分	地域協働の推進に関する事業 (関連区分: 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,068,122 円 (うち支援金: 2,297,000 円)

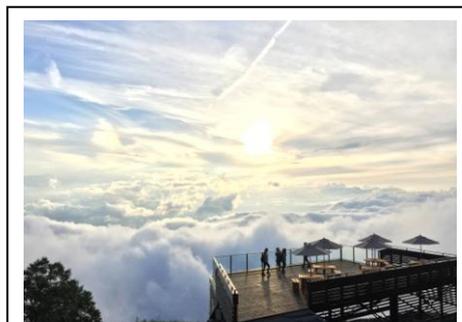
事業内容

1 GAP調査事業

須賀川区に住んでいる人が魅力と感じているものが、はたして外の人から見た場合も本当に魅力的なものなのか、須賀川の観光資源に関する意識調査を、じゃらんリサーチセンターの協力のもとインターネットを利用して、1000名を対象に調査を行いました。

2 ご当地パンフレット「すがかわ じゃらん」の発行 (8Pカラー11,000部)

GAP調査の結果をもとに、須賀川の魅力を順位づけ、効果的に表現した観光周遊促進のためのパンフレットを作成する。着地型観光パンフレットの位置づけとし、周辺の宿泊施設、道の駅等に配布。また、集落再熟実施モデル地区支援事業の内容を、須賀川区の方にも更に認知していただくために全戸配布しました。



【じゃらん撮影風景】

【目標・ねらい】

- 「じゃらん」という冠を利用して観光客に手に取ってもらおうようにする。
- グリーン期における須賀川の魅力を発信して、多くの方に訪れてもらう。

事業効果

須賀川区という集落の観光パンフレットを作成しただけでは誰も手に取って見てはくれません。そこで「じゃらん」というメジャーな旅行雑誌の冠を羽織ったフリーペーパーであれば、多くの方に手に取っていただけたと思います。それは予測を上回るほどで、宿泊施設においてもすぐなくなってしまうところが殆どでした。それだけ魅力あるフリーペーパーで、わざわざ須賀川を訪れるという方も増えると確信いたします。

また、昨年新しく竜王山頂にできた「SORA terrace」が見開きのトップページを飾っていますが、9月の入込数が昨対約300%、10月が約400%で、グリーンシーズンにおける須賀川の大きな魅力のひとつとなり、須賀川に人を呼び込むための大きな牽引力となるでしょう。

※自己評価【 A 】

【理由】

宿泊施設では予測を上回る速さですぐなくなってしまう。これは「じゃらん」という名前だけでなく、中身を見て須賀川に魅力を感じたからと自負いたしません。

今後の取り組み

今年度取り組んできた集落内トレッキングコースの活用や域内での食や体験を集落の人材を活用して実施することもメニューに盛り込むことを想定しており、集落内に人の流れを創出し、集落の人とのふれあいの中で旅を楽しんでもらい、心身ともに元気になってもらえるような取り組みとしていきます。さらに、ESD(持続可能な開発のための教育)との組み合わせで、グリーン期の修学旅行を呼び込み、以前の賑わいを取り戻すために積極的に活用していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある